

2021年度環境省補助事業

2021年度
二酸化炭素排出抑制対策事業
地域における地球温暖化防止活動促進事業

報 告 書

2022年3月

一般財団法人 三重県環境保全事業団
(三重県地球温暖化防止活動推進センター)

目 次

I	業務の目的	1
II	業務の内容	1
1	三重県地球温暖化防止活動連絡調整会議の設置及び会議の開催状況	1
(1)	三重県地球温暖化防止活動連絡調整会議の設置	1
(2)	会議の開催状況	2
2	地球温暖化防止啓発ビデオ制作及びC A T Vでの放映	6
(1)	概 要	6
(2)	番組の構成	6
(3)	視聴対象	6
(4)	制 作	6
(5)	監修・著作	6
(6)	番組の進行状況(シナリオ)	7
(7)	番組タイトル	13
(8)	番組前に掲載された告知記事	14
(9)	W e b (YouTube)閲覧状況	14
3	推進員研修会の開催（中部ブロック合同推進員研修会）	15
4	日常生活に関する温室効果ガス排出抑制のための照会・相談・助言業務	17
(1)	照会・相談・助言業務	17
(2)	各種イベント時の簡易省エネ相談業務	17
5	COOL CHOICEの賛同	18
6	アンケートの実施	18
(1)	環境省会場アンケートの結果	18
(2)	エコライフアンケートの結果	19
	【資料】	
	資料1（環境省会場アンケート）	20
	資料2（エコライフアンケート）	23

I 業務の目的

三重県地球温暖化防止活動推進センター（以下「センター」という。）が実施する当「地域における地球温暖化防止活動促進事業」では、地域における日常生活に関する温室効果ガスの排出の実態に関する地球温暖化防止活動推進員（以下「推進員」という。）も活用した調査の実施、情報収集・提供、普及啓発、広報活動、地球温暖化防止啓発ビデオ制作及びCATVでの放送等を実施する。

当事業により、地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE（＝賢い選択）」の賛同を働きかけ、地域の関係主体との効果的な連携、連絡調整等を図り、エネルギー起源二酸化炭素の排出の抑制に資する事業を展開することにより、地域における地球温暖化防止活動の基盤の形成を促進し、低炭素社会の構築を目指すとともに地球環境の保全に資することを目的とする。

II 業務の内容

1 三重県地球温暖化防止活動連絡調整会議の設置及び会議の開催状況

（１）三重県地球温暖化防止活動連絡調整会議の設置

「令和２年度地域における地球温暖化防止活動促進事業」の実施にあたり、地域の関係主体との効果的な連携、連絡調整等を通じて、事業を円滑に実施することを目的に三重県地球温暖化防止活動連絡調整会議（以下「会議」という）を設置した。

会議の構成員は表－１のとおりである。

表－１ 三重県地球温暖化防止活動連絡調整会議構成員

所 属 等	
推 進 員	三重県地球温暖化防止活動推進員
	三重県地球温暖化防止活動推進員
	三重県地球温暖化防止活動推進員
	地球温暖化防止活動中勢協議会
地 域 協 議 会 等	三重大学環境ＩＳＯ学生委員会副委員長
	一般社団法人日本自動車連盟三重支部事業課長
	シャープディスプレイテクノロジー株式会社 亀山事業所主任
	中部電力パワーグリッド株式会社 三重支社 総務部 総務・広報グループ課長
	環境省中部地方環境事務所環境対策課長
行 政 機 関	三重県環境生活部地球温暖化対策課長
	四日市市環境部環境保全課長
	鈴鹿市環境部環境政策課主幹兼環境政策グループリーダー
	亀山市生活文化部環境課長
	津市環境部環境政策課長
	松阪市環境生活部環境課主任
	伊勢市環境生活部環境課長
事務局	三重県地球温暖化防止活動推進センター事務局長
	三重県地球温暖化防止活動推進センター

(2) 会議の開催状況

① 会議の開催状況は表－２のとおりである。

表－２ 会議の開催状況

開催年月日	出席者	会議の概要
2021年 8月26日	14名 (代理出席含む)	「2021年度地域における地球温暖化防止活動促進事業」計画について説明を行い、了承された。 (資料1)「三重県地球温暖化防止活動推進センター2021年度事業計画」
2022年 3月7日	構成員に資料を送付	日程調整の結果、会議を開催できなかったため、会議構成員に「2021年度二酸化炭素排出抑制対策事業 地域における地球温暖化防止活動促進事業報告書」を送付し、意見を徴収することで会議の開催に代えた。

② 第1回連絡調整会議の概要

第1回三重県地球温暖化防止活動連絡調整会議の概要

「地域における地球温暖化防止活動促進事業」についての事務局説明

2021年度「地域における地球温暖化防止活動促進事業」を受託し、今年度も国、県、市、推進員、地域協議会等で構成する「連絡調整会議」を設置して、連絡調整・協議等を行うこととしている。

1 三重県地球温暖化防止活動推進センターの活動状況

① 2020年度事業実績

補助事業の基盤形成事業を計画どおり実施した。

また、三重県の委託事業、センター自主事業についても計画どおり実施した。

② 2021年度事業計画

ア 地域活動支援事業（県委託事業等）

推進員が行う出前講座やイベント出展等の啓発活動を支援するとともに、県、市町等と連携し、出前講座の機会を増やすなど、推進員活動等の活性化を図る。また、新規の推進員の確保の手法等について三重県と連携して検討していく。

イ 温室効果ガス排出削減事業（国補助事業）

2021年度事業計画では、「みえ環境フェア2021」を開催するとしていたが、6月に中止を決定し他の方策で温暖化防止活動を推進する。

ウ 中部ブロックの地域センターとの連携

中部ブロックの7県8地域センターとの連携を図り、推進員合同研修会の開催等交流を進める。

2 地域における地球温暖化防止活動促進事業

① 2021年度事業計画について

「地域における地球温暖化防止活動促進事業の実施計画書」に基づき、自治体等主催の環境イベントでの普及啓発、地球温暖化防止啓発ビデオ作製及びCATVでの放送、日常業務におけるCOOL CHOICEの推進等を実施する。

地域における地球温暖化防止活動の基盤の形成を促進し、低炭素社会の構築を目指すとともに地球環境の保全に資することを目的とする。

② みえ環境フェア2021の代替え手段について

例年では、推進員や他の環境団体、県内市町、県内企業・団体との交流を図るとともに、来場者に対して地球温暖化の現状について啓発を行う場として「みえ環境フェア」を開催しているが、今年度は、新型コロナウイルス感染の渦中であって、双方向体験交流型のイベント等の開催が制約されることから、みえ環境フェア主催出展に代わって、感染リスクのない情報発信型(受動型)の普及啓発事業を実施する。

2020年度事業で、産官学民を対象として、主に行政、企業、推進員の取組を紹介し、三重県知事から「ミッションゼロ2050みえ推進チーム」への強いメッセージがあり、県民への効果の高い啓発につながったことから、今年度は、「ミッションゼロ2050みえ推進チーム」で活動する若者チーム、アクションチームを主として取り上げるにより、特にこれからの時代を担う若い層への効果的な普及につなげる。

放送は、地元ケーブルテレビ局で11月～12月において複数回放送し、より多くの視聴を見込む。

3 その他

第1回連絡調整会議は、三重県で「新型コロナウイルス緊急警戒宣言」が発出されたため、急遽オンライン開催（Zoom）となった。



写真 第1回連絡調整会議の状況①（2021年8月26日）

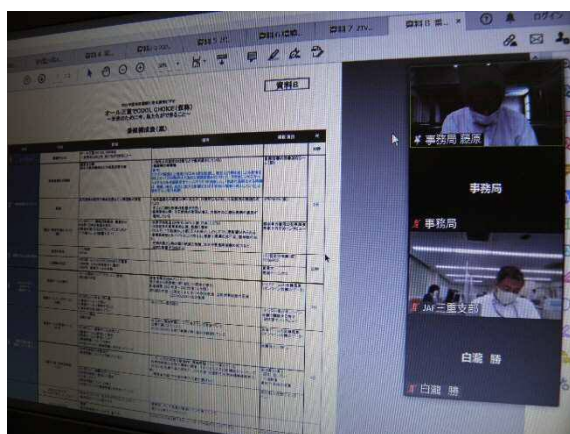


写真 第1回連絡調整会議の状況②（2021年8月26日）

③ 第2回連絡調整会議概要

第2回三重県地球温暖化防止活動連絡調整会議の概要

会議構成員に「三重県地球温暖化防止活動推進センターの活動状況の資料」と「2021年度二酸化炭素排出抑制対策事業 地域における地球温暖化防止活動促進事業（三重県）」報告書を送付し、意見を徴収することで会議の開催に代えた。

1 三重県地球温暖化防止活動推進センターの活動状況

2021年度の出前講座やイベントでの地球温暖化防止にかかる啓発活動や COOL CHOICE（=賢い選択）賛同促進など、三重県における活動状況の説明資料。

2 地域における地球温暖化防止活動促進事業

「2021年度二酸化炭素排出抑制事業 地域における地球温暖化防止活動促進事業（三重県）」報告書

2 地球温暖化防止啓発ビデオ制作及びCATVでの放映

(1) 概要

- ① タイトル：「オール三重でCOOL CHOICE～未来のために今、私たちができること～」
- ② 番組尺：15分
- ③ 放送CH：ケーブルテレビZTV（12ch）
- ④ 放送エリア：津放送局エリア（津市・亀山市・松阪市嬉野町）
伊勢放送局エリア（伊勢市・鳥羽市・志摩市磯部町、玉城町、度会町、南伊勢町）
東紀州エリア（尾鷲市・熊野市・紀北町、御浜町、紀宝町）
- ⑤ ケーブルテレビZTV加入世帯：162,700世帯
- ⑥ 放送日時：津エリア 11月16日～12月15日 16:00～16:15(30回)
伊勢エリア 11月16日～12月15日 16:45～17:00(30回)
東紀州エリア 11月16日～12月15日 16:30～16:45(30回)
※リピート放送
- ⑦ その他：センターHP Web公開(YouTube)、DVD貸出

(2) 番組の構成

- ① オープニング
- ② 世界の気温情勢・地球温暖化の仕組み
- ③ 温暖化防止に向けた取り組み
- ④ ミッションゼロ2050みえ推進チーム
- ⑤ 若者の取り組み（若者チーム・中高科学技術部）
- ⑥ 未来のために今、私たちができること
- ⑦ まとめ



(3) 視聴対象

- ① 環境問題に疎遠な人（全年齢層）
例：脱炭素化・COOL CHOICEなどの取り組みを知らない人
→地球温暖化を身近に感じ、他人事ではなく視聴者本人の“行動を変える”きっかけを作る。
- ② これからの未来を担う若い世代
→環境問題に“興味・関心を抱いてもらう”きっかけを作る。さらに、若い世代が環境問題に目を向けることで、次世代への啓発につながることを目指した。

(4) 制作：株式会社ZTV

(5) 監修・著作：一般財団法人三重県環境保全事業団 三重県地球温暖化防止活動推進センター

(6) 番組の進行状況(シナリオ)

映像	内容
1. オープニング	
タイトルCG	オール三重でCOOL CHOICE ～未来のために今、私たちができること～
2. 世界の気温情勢・地球温暖化の仕組み	
カナダ国内のイメージ映像	今年6月、記録的な熱波に襲われたカナダ西部。 例年の6月は涼しい気候で知られるカナダで、国内観測史上最高となる49.6度を記録し、世界に衝撃を与えました。 そしてこの熱波が原因により、山火事が相次いだほか、生態系にも大きな影響を及ぼしました。
熱波のイメージ映像	この異常ともいえる熱波について、世界の気象を分析する研究チームは『人間活動による地球温暖化の影響がなければ、起きる可能性は事実上なかった』と発表しました。
イラストCG	地球温暖化は、人間活動による「温室効果ガス」の増加が原因とされています。 温室効果ガスとは地球の周りを取り囲んでいるガスのことで、石油や石炭といった化石燃料を使用するときに発生するCO2が、大きな割合を占めています。 温室効果ガスは地球の温度を保つ役割をしているのですが一方、増えすぎてしまうと、太陽から届いた熱を逃がすことが難しくなり、地球に熱がこもることで温度が上昇してしまいます。
技官 岡田海さん	インタビュー:津地方気象台 技官 岡田 海 さん Q、異常気象の要因や影響とその対策など 世界の平均気温は、長期的にみて100年あたり0.72度、日本の平均気温は100年あたり1.26度上昇しています。 これを聞いて「なんだ、1度程度か」と感じる人も多いと思います。
天候のインサート	  <p>2021.10.13 津気象台にて撮影(岡田技官・撮影風景)</p> <p>この「1度程度」の上昇でも、日本では最高気温が35℃以上となる猛暑日が増えたり、短時間に降る強い雨の回数が増えたりしています。</p>

<p>* キーワード 「脱炭素」</p>	<p>さらに、産業革命前と比べて気温が2度以上、つまり、現在と比べて0.8度くらい高くなると、地球全体で数億人規模の水不足、極端な降水や強い台風による被害、昆虫などが媒介する感染症の拡大、生物の3割の種が絶滅する可能性など、さらに深刻な影響が出始めると言われています。</p> <p>地球温暖化の進行を止めるためには、脱炭素など、世界中が協力して温室効果ガスの排出を減らす必要があります。</p>
<p>3. 温暖化防止に向けた取り組み</p>	
<p>パリ協定の写真 (2015年)COP21 SDGsロゴ</p> <p>ミッションゼロ2050 みえ宣言映像(2019 年)</p> <p>三重県庁 外観 推進チームのロゴ</p>	<p>これ以上の温暖化を防ぎ、環境や資源を守るため、世界各国が協力し、脱炭素化を進めていくための条約「パリ協定」や世界を変えるための目標「SDGs」を掲げ、取り組みを進めています。</p> <p>そして私たちが住む三重県でも、2050年までに県域からの温室効果ガスの排出実質ゼロを目指します。(脱炭素社会の実現に向け、県が率先して取り組む決意としてここに宣言します。)</p> <p>2019年に三重県が宣言した「ミッションゼロ2050みえ」。 これは2050年までに県内から発生する、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという「脱炭素化」に向けたプロジェクトです。</p> <p>そして昨年末には、県内の行政・教育・企業など16団体が参加する産官学が連携した長期プロジェクト「ミッションゼロ2050みえ推進チーム」が始動しました。</p>
<p>4. ミッションゼロ2050みえ推進チーム</p>	
<p>岡村部長</p>	<p><u>三重県環境生活部 岡村部長</u> Q、推進チーム」の具体的な活動計画 推進チームにおいては、「再生可能エネルギーの利用促進」、「脱炭素経営の促進」、「COOL CHOICEの推進」の3つのテーマについて、それぞれ具体的な取組を進めていくこととしています。</p> <p>再生可能エネルギーの利用促進については、今年の6月に、三重県産の再エネ電力を販売できる小売電気事業者を募集し、県内事業者等に利用していただく「三重県産再エネ電力利用促進事業」を開始し、現在、ご利用いただける事業者の方を募集しています。</p> <p>脱炭素経営の促進については、脱炭素経営に取り組んでいく意欲がある県内企業等に対してアドバイザーを派遣するなどの支援事業の取組を進めています。</p>

	<p>COOL CHOICEの推進については、省エネ家電の買換えや宅配事業の効率化について取組の検討を進めており、今年度中に事業を開始する予定です。</p> <p>脱炭素は世界共通の喫緊の課題となっています。脱炭素社会の実現に向けて、県民や事業者のみなさんが取り組んでいただけるような取組を推進チームの活動などを通じて推進していきたいと考えています。</p> <div data-bbox="507 477 914 779" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="933 477 1340 779" data-label="Image"> </div> <p>2021.10.25 三重県環境生活部 部長室にて撮影(岡村部長・撮影風景)</p>
--	--

5. 若者の取り組み(若者チーム・中高科学技術部)

(1)若者チーム 大学で学ぶ様子 学内での様子

「ミッションゼロ 2050 みえ推進チーム」には、一般公募で集まった大学生などの若い世代も参加しています。

三重大学 生物資源学科 渡邊さん

Q、チームに参加した理由

若者チームに入ったのは、他大学の学生や一般の方など環境に興味をもった方が集まるということで、その方たちと意見交換したり、環境についての考えが深められたらという思いで参加しました。

若い世代で構成される「若者チーム」では脱炭素やSDGsの推進に向けた提案や高校生を対象とした意識調査などを行っています。







三重大学 地域イノベーション学研究科博士前期課程2年 小西さん

僕たちの世代はデジタルネイティブと言われる世代で、固定電話にあまり馴染みがなくて、生まれた時から携帯電話がありました。大学でもオンライン授業などもありデジタルに対する親和性が高くなってきている。

一方で電気をかなり使う世代になってきているので、電力消費に関する問題は僕らが特に考えていかなければならないと思います。

最近では電力会社の電力不足や火力発電をやめて再生可能エネルギーと言われていますが、その実態は身近に感じる事が無いので、そういう問題意識は高くもっていきたいし広げていきたい。そのような課題があればみんなで考えていくことが大事なのかなと思います。



<p>(2)三重中高 三重中外観 集合写真</p> <p>調査の様子</p> <p>飾られている表彰 状 受賞時の集合写真</p> <p>干潟調査の様子 石川恵雅さん</p>	<p>一方、自発的に環境問題と向き合う中高生がいます。 中高一貫教育校 三重中学・三重高校の科学技術部では、海や森をフィールドに生物や環境に関する調査を行い、その結果や活動内容を学会などで発表しています。</p> <p>これらの長年に渡る 生物研究や部活動の成果が評価され、2019年には環境省などが主催する「全国野生生物保護実績発表大会」で文部科学大臣賞に選ばれました。</p> <p>そして今後も、さらなる目標をみせています。</p> <p><u>三重中学校・三重高校 中高科学技術部 石川恵雅さん</u></p> <p>今年はいろいろなことがあり大変な年ですけど、それでもみんなの学びも自分たちの学びも止めてはいけないと思うので、例えばコロナ禍が明けたときに果たして環境教育ができるのかとか、何をしていけば色々な人に海に対して親しみをもってもらえるのかということをもっともっと深く自分たちで突き詰めていて、今自分たちができることは何か、今だからこそできることは何か？それらを含めて新しいことにチャレンジしていきたいと思っています。</p> <div data-bbox="507 929 914 1234">  </div> <div data-bbox="954 929 1361 1234">  </div> <p>2021.10.10松阪干潟調査にて撮影(石川部長)</p>
<p>朴センター長</p>	<p>こうした若者の取り組みについて、環境問題に詳しい三重大学の朴教授は。 Q、若者に期待すること</p> <div data-bbox="507 1413 914 1718">  </div> <div data-bbox="930 1413 1337 1718">  </div> <p>2021.10.19 三重大学研究室にて撮影(朴 恵淑センター長・撮影風景)</p>

6. 未来のために今、私たちができること	
文字テロップ	未来のために今、私たちができることは何でしょうか。
ロゴ・補足説明文	その取り組みの一つに、国民みんなでCO2を削減しようという地球温暖化対策「COOL CHOICE」があります。
最新家電並ぶ店内 家庭部門のグラフ	<p>脱炭素アクション①低炭素型製品への買い替え (家庭部門は日本のCO2排出の約5%)</p> <p>私たちの生活を支えてくれる家電製品。 特に冷蔵庫やエアコンなどはなくてはならない存在ですが、これらの家電を使用するための電気が、家庭から出るCO2排出量の中で、最も割合が高いと言われています。</p>
西山裕貴さん	<p>出演:三重県電器商業組合 YOUニシヤマ(株)西山裕貴さん</p> <p>家電製品の省エネ技術は年々進化しています。 例えば、冷蔵庫を最新型に買い換えると10年前の製品と比べて電気代を約50%削減することができます。 冷蔵庫は24時間365日稼働しているので省エネ効果が高い製品です。</p> <p>また照明器具の電球をLEDに取り換えると、一般電球と比べて電気代を約85%も削減することができます。 LEDは省エネ・明るい・長持ちといったメリットがあります。</p> <p>最新家電に買い換えることで電気代を削減できるほか、CO2の削減につながります。省エネ家電に買い換えるという「選択」。これがCOOL CHOICEです。</p> <div data-bbox="486 1205 1321 1509" data-label="Image"> </div> <p>2021.10.22 YOUニシヤマ(株)にて撮影(西山室長・撮影風景)</p>
集荷センター トラックの積み込み トラック出発	<p>脱炭素アクション②低炭素サービスの選択 (運輸部門は日本のCO2排出の約18%)</p> <p>家までさまざまな物資を届けてくれる宅配サービス。 不在にしているとも無料で再配達してもらえるので、とても便利なサービスです。 しかし近年、この再配達が問題になっています。</p>
高木強さん	<p>出演:ヤマト運輸 高木強さん</p> <p>(近年の宅配件数や再配達について)</p> <p>インターネットの普及などにより、宅配を利用する機会は年々増加していますが、宅配業界全体でみると、配達する荷物の約11%が再配達によるものと言われています。</p>

<p>配達シーン</p> <p>高木強さん</p>	<p>(具体的な数値は?) この再配達率が1%低下すると、およそ2万トンのCO2を削減できると言われています。</p> <p>(運輸業界が取組んでいる改善策とお願い) 現在、業界では、置き配やコンビニ、駅などに設置されたオープン型宅配便ロッカーでの受け取りなど、お客さまの生活の中で受け取りやすいタイミングや場所で荷物を受け取っていただける取り組みを進めています。 お客様のご都合の良いタイミング、1度で受け取っていただくことで、満足していただき、結果として再配達が減り、トラックによるCO2排出量を削減することにもつながります。</p> <p>できるだけ1回で受け取る。これがCOOL CHOICEです</p> <div data-bbox="507 732 916 1037" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="930 732 1339 1037" data-label="Image"> </div> <p>2021.10.15 ヤマト運輸(株)三重主管支店にて撮影(高木支店長・撮影風景)</p>
<p>自動車走行シーン 丸之内歩道橋</p> <p>事業課事業係 勝井 準也さん (かつい じゅんや)</p>	<p>脱炭素アクション③低炭素なライフスタイル転換</p> <p>私たちの日常生活において、移動手段に欠かせない自動車。 しかし自動車から出る排出ガスが増えることで、 大気汚染や地球温暖化が進むことがあります。</p> <p>出演:JAF 勝井 準也さん</p> <p>皆さんに実践していただきたいのが、地球環境に配慮した運転方法「エコドライブ」です。 エコドライブのポイントの一つに、穏やかにアクセルを踏んで発進する「ふんわりアクセル」があります。 最初の5秒で、時速20Km程度を目指してください。 日々の運転において、やさしい発進を心掛けるだけで、燃費を10%程度、改善することができます。</p> <div data-bbox="523 1662 932 1966" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="956 1662 1364 1966" data-label="Image"> </div> <p>2021.10.12 JAF三重支部にて撮影(勝井さん・撮影風景)</p>

	<p>そのほか、運ぶ必要のない荷物は車から降ろす、ムダなアイドリングをやめる、エアコンの使用を適切にすることもエコドライブです。</p> <p>人にも車にも環境にも優しい運転、エコドライブを実践する。 これがCOOL CHOICEです。</p>
COOLCHOICEロゴ アクション一覧	<p>COOLCHOICEは、あらゆる所で実践できます。 一人一人のライフスタイルに合わせて、無理なく取り組みましょう。</p>
7. まとめ	
イラストCG エンドロールクレジット	<p>12月は、地球温暖化防止月間です。 地球温暖化は、遠い未来の話ではありません。 その対策は温暖化を食い止めるだけではなく、私たちの生活を豊かにすることにもつながります。</p> <p>この機会にライフスタイルを見直し、私たちの挑戦で未来を変えましょう。</p>

(7) 番組タイトル



(8) 番組前に掲載された告知記事

番組Pick Up!

三重県エリア(津放送局・東紀州放送局・伊勢放送局)の番組

特別番組 オール三重でCOOL CHOICE 未来のために今、私たちができること [15分]

「COOL CHOICE(クールチョイス)」とは地球温暖化対策のために国民みんなでCO₂を削減していこうという取り組みです。番組では「COOL CHOICE」の事例を紹介します。

【放送日時】

津エリア	11月16日(火)～12月15日(月)	16:00～16:15
伊勢エリア	11月16日(火)～12月15日(月)	16:45～17:00
東紀州エリア	11月16日(火)～12月15日(月)	16:30～16:45

オール三重でCOOL CHOICE
未来のために今、私たちができること

紀の川良子の旅っちゃってごめんね

演歌歌手、紀の川良子さんが東紀州を巡り地域の魅力を再発見!

* 毎月24日更新

特別番組 皇學館大学TV倉陵祭 [2時間]

毎年秋に開催される皇學館大学の大学祭「倉陵祭」は、新型コロナウイルスの影響で開催が出来なくなりましたが、今回は「皇學館大学TV倉陵祭」として、文科系部活動を中心とした様々なパフォーマンスを特別番組でお送りします。

【放送日時】

【伊勢】	11月20日(土)、21日(日)、27日(土)、28日(日)	17:00～19:00
【津・東紀州】	11月20日(土)	17:00～19:00

おとどけ隊

東紀州の衣食住に関する情報番組。自分たちが住む地域の良さや魅力を番組ディレクターがおもしろおかしく紹介します。

* 毎月8日更新

ケーブルテレビチャンネルガイド 11月号

(10) Web (YouTube) 閲覧状況

センターでは、一般視聴者のWeb閲覧数を12月末で450回として目標設定した。2021年11月18日のホームページ掲載から、12月末までで260回、2月末の時点で520回となり、番組の意図した成果は達成できたと評価する。【CO₂削減量：520人×0.138tCO₂/年・人＝71.8tCO₂】



3 推進員研修会の開催

本事業において、推進員の研修会を1回実施した。概要は次のとおりである。

中部ブロック合同推進員研修会

開催日：2021年11月12日(金)

開催方法：オンライン（ZoomおよびYouTubeリアルタイム配信）

出席者：三重県推進員2名

センター事務局3名(Web参加) 計4名

概要：

① スケジュール及び内容

(1) 開会 (13:30～13:35)

(2) 講演 (13:35～14:30) 富山市における脱炭素社会づくり及びSDGs達成に向けた取組み

講師 環境部環境政策課 未来都市推進係 塚本 紘己

(3) 中部ブロック推進員の活動事例発表 (14:45～17:00) 8センター 1事例×15分

時間	県市区別	発表者氏名	概要
14:45	富山県	牛島 由美子	とやま環境チャレンジ10 はじめてのエコライフ教室 他
15:00	石川県	米山 立子	暮らしにつながる推進活動
15:15	福井県	竹内 清	エコドライブ体験会について
15:30	長野県	宮原 則子	信州版省エネガイドブックの紹介と 今後の展開について
休憩			
15:55	長野市	堀池 政史	デジタル地球儀触れる地球 企業出前講座 (SDGs) ラジオ放送による啓発
16:10	岐阜県	渡辺 浩一	東濃エリアエコ協議会5年間の歩み ワークショップや啓発活動など
16:25	愛知県	長内 隆久	私が実施しているSDGsのご紹介
16:40	三重県	落合 文記 吉田 賢一	小学校での啓発活動について

② 三重県事例発表

小学校への啓発について

- ・2030年～2050年を考えると、今の子どもたちへの啓発が重要



現在小学生 ⇒



2030年 成人 ⇒



2050年を過ぎると

3

鈴鹿市での取り組みについて (今年度から)

- ・「ECO2プロジェクト」・・・環境授業
鈴鹿市環境政策課、鈴鹿市教育委員会、防災危機管理課と取り組んでいます



今年度は6校の指定校。年に1回実施

9

出前授業の一例

① 災害について学ぶこと

さいがい じしん どしゃさいがい
台風・地震・土砂災害 など



さいがい なに あぶ
・どんな災害？何が危ない？



かくいつ お
・どれくらいの確率で起こる？



いま ひがい
・今までどんな被害があった？



15

4 日常生活に関する温室効果ガスの排出の抑制等のための照会・相談・助言業務

(1) 照会・相談・助言業務

センターでは、各種イベント出展時や電話等により県民からの照会・相談を受け付けており、適切な助言等を行っている。

交付決定日から2022年2月末までの相談件数は表－6のとおりである。

表－6 照会・相談・助言業務

相 談 の 内 容	相談者の属性	対 応 状 況	延べ人数
温室効果ガス・節電の対策等、出前講座の実施について(依頼・実施に伴う支援・教材提供等)、イベント出展について(依頼・実施に伴う支援・教材提供等)、その他啓発機材の提供・貸出、広報依頼等に関すること	県民・企業・学校・行政職員等	助言、資料・パンフレット等の提供、講師の派遣、教材の提供等	526人

(2) イベント時の簡易省エネ相談業務

センターでは、イベント出展時に簡易省エネアンケート（「エコライフチェック」）を用いた省エネ診断・助言業務を実施した。

会場では、来場者によるアンケート（資料3）の回答をもとに、対話方式で回答者の省エネ指導・啓発を行い、家庭の実態に即して適切な助言を行った。



5 COOL CHOICEの賛同

出前講座やホームページ（QRコード）等でCOOL CHOICEの賛同を募った。

賛同数 3,302人(2022年2月末現在) 【CO₂削減量:3,302人×0.138tCO₂/年・人=455.7tCO₂】

出前講座等のCOOL CHOICEの賛同数	173人
QRコードでのCOOL CHOICEの賛同数	45人
団体6社のCOOL CHOICE賛同数	3,084人

6 アンケートの実施

(1) 環境省会場アンケートの結果

全国統一アンケートである「会場アンケート」（資料1）を行い、行動変容調査を行った。
令和3年6月から令和4年2月末までの実施件数は522件でCO₂の削減量は約28.5tであった。

省エネ機器：224人×21%×0.24×1.62tCO₂/年・人=18.3tCO₂

照明の高効率利用：252人×6%×0.24×2.81tCO₂/年・人=10.2tCO₂

食品ロス：46人×33%×0.43×0.0015tCO₂/年・人=0.01tCO₂

(2) エコライフアンケートの結果

① エコライフアンケートの概要

エコライフのアンケート（資料3）を実施しており、令和元年6月から令和2年2月末までの実施件数は77件であった。

アンケート結果によると、平均光熱費は29,393円/月であり、その割合は電気代（31%）、ガス代（18%）、灯油代（19%）、ガソリン代（32%）となっていた。

また、この結果を昨年度実施したアンケート結果と比較すると、平均光熱費に占める電気代は（35%⇒31%）、ガス代は（41%⇒18%）、灯油代は（15%⇒19%）、ガソリン代は（30%⇒32%）となっている。

一方、省エネの取組みでは、掃除洗濯の得点が80点を上回っていたが、風呂・洗面の得点が60点を下回っており、このあたりが今後の啓発ポイントと考えられる。

本アンケートは、イベントで行っている簡易の省エネアンケートであり、来場者に会場でアンケートに回答してもらい、その場で結果をグラフ化し、問題点等を指摘しながら対話形式で啓発・指導を行うシステムのため、省エネ・温暖化対策の啓発方法として非常に有効なツールであり、今後も継続していく方針である。

② エコライフアンケート集計結果（令和3年6月から令和4年2月実施） 件数 77件

集計レポート

2022/3/4

■平均光熱費

	平均光熱費 (円/月)	世帯人数別光熱費(円/月)					
		1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	6人世帯
電気代	9,080	4125	7939.1	10727	7080	9375	25000
都市ガス代	5,608	0	1095.7	1681.8	2860	2250	3500
LPガス代	5,111	1400	2452.2	500	1440	4250	0
灯油代	5,425	1500	1847.8	3272.7	440	875	0
ガソリン代	9,529	1125	6108.7	7818.2	6800	9375	7500
合計	29,393	8,150	17,670	22,908	16,470	22,875	36,000

■取り組みチェック

	回答人数(人)				平均点 100点満点換算
	できて いる	半分く らい	できて いない	持って いない・関 係ない	
(1)冷蔵庫のドアの開閉は回数を減らす	26	35	16	1	56
(2)食器洗いで節水を心がける	28	31	13	6	60
(3)生ゴミは水分を十分切って出すか、コンポストしている	35	32	10	1	66
(4)電子レンジや冷蔵庫保存はラップを使わず、ふた付き容器を使用する	17	40	19	2	49
(5)使い切る分だけお湯を沸かす	47	23	7	1	76
(6)使っていない部屋の照明はこまめに消す	60	13	4	0	86
(7)テレビは点けっぱなしにせず、見たい番組のときだけ点ける	33	27	17	1	60
(8)冷暖房の設定を控えめにする(冷房は28℃、暖房は20℃が目安)	38	33	7	0	70
(9)物は大切に、長く使うように心がける	49	24	5	0	78
(10)家族で「省エネ」「リサイクル」「環境問題」などの話をする	23	25	27	3	47
(11)シャワーで使用するお湯を少なくするよう気をつける	28	36	9	5	63
(12)お風呂はさめないうちに、家族が続けて入る	43	19	13	3	70
(13)お風呂の残り湯を、洗濯や庭の水やり利用する	22	13	38	5	39
(14)掃除機をかける前に、まず部屋を片づける	48	23	6	1	77
(15)洗濯は量をまとめて行い、洗濯回数を減らすようにする	55	17	6	0	81
(16)洗剤を適量確認して使用する	59	17	2	0	87
(17)買い物ときは買い物袋を持参する	67	9	1	1	93
(18)エコマーク商品など環境にいい商品を選択的に選んで購入する	18	41	19	0	49
(19)リサイクルや、各自治体の分別収集のルールを守る	65	10	3	0	90
(20)近い所へは徒歩や自転車を使い、自動車の使用はひかえる	27	24	24	3	52
1 台所					62
2 部屋・生活					68
3 風呂・洗面					57
4 掃除洗濯					82
5 買い物・外出					71

■記入世帯数

	合計	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	6人世帯
世帯数	77	8	23	11	25	8	2

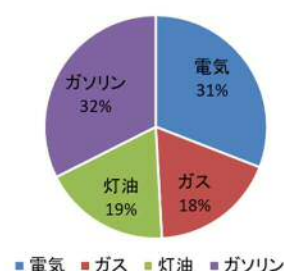
■オール電化世帯

オール電化世帯	13
ガス併用世帯	64

■都市部郊外別


都市部	51
郊外	24

平均光熱費の割合



追加

本アンケートは、環境省「脱炭素ライフスタイル推進事業の高度化検討等委託業務」の一環で実施しています。



LED照明利用意向実態アンケート

LED照明の利用意向を調査しています。わかる範囲で、お答えください。

1. あなたご自身について

性別 ☐ 男性 ☐ 女性 ☐ その他

年齢 ☐ 10代以下 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代以上

2. これまでの検討状況について

◆ イベント前、LED照明に興味がありましたか（1つ回答）。

☐ すでに購入済み ➡ Q3を飛ばす

☐ 機会があれば購入したいと思っていた

☐ 興味はあったが、購入対象ではなかった

☐ 興味がなかった

☐ LED照明のことを知らなかった

☐ わからない

3. 今後の購入意向について

◆ イベントに参加されて、LED照明を購入したいと思いましたか（1つ回答）。

☐ 機会があれば購入したいと思う

☐ 興味はあるが、購入対象には入らない

☐ 興味が無い

☐ わからない

4. 利用／購入意向の理由について

Q2で「すでに購入済み」または、
Q3で「機会があれば購入したいと思う」「興味はあるが、購入対象には入らない」のいずれかを選択された方にお尋ねします。

◆ なぜ、LED照明を購入しましたか／興味を持ちましたか（3つまで）。

☐ CO2の削減に貢献するため

☐ これまでの照明よりも電気代が安くなったと思ったため

☐ これまでの照明よりも寿命が長いため

☐ 調光・調色機能があるため

☐ みんな（周りの人）がLED照明を購入しているため

☐ 現在使っている照明が切れた／壊れたため

☐ その他（具体的に）

☐ 特に理由はない・なんとなく

5. 追跡アンケートへのご協力をお願い

◆ WEBアンケート実施のためメールアドレスをご記入ください*。

④ 以下は下から選択して下さい

☐ docomo.ne.jp ☐ ezweb.ne.jp ☐ i.softbank.jp ☐ softbank.ne.jp ☐ yahoo.co.jp ☐ gmail.com

☐ その他（ ）

★ご協力ありがとうございました。

* 1. 追跡アンケート実施にあたっては、個人情報保護法に基づき、追跡アンケートを実施するに当たっては、アンケートにお答えするメールアドレスを基に、本WEBアンケートは、追跡アンケートの一環として、「脱炭素ライフスタイル推進事業の高度化検討等委託業務」委託者が実施します。

2. 追跡アンケート実施により、追跡アンケートメールが送付メールフォルダやゴミ箱に自動的に振り分けられている可能性があります。一度ご確認いただき、追跡アンケートメールが送付メールフォルダに振り分けられていることを確認してください。

3. ご記入いただいたメールアドレス等の個人情報は、「脱炭素ライフスタイル推進事業の高度化検討等委託業務」において適切に管理され、漏洩の可能性があります。また、個人情報が第三者に提供されることはありません。

4. 追跡アンケート実施にあたっては、追跡アンケート実施の目的のみに利用し、委託先である環境省、委託先以外の第三者に提供せず、適宜に管理します。

環境省

本アンケートは、環境省「脱炭素ライフスタイル推進事業の高度化検討等委託業務」の一環で実施しています。



◎ 食べものに、
もったいないを、
もういちど。
NO-FOODLOSS PROJECT

食品ロス削減意向実態アンケート

食品ロスの削減意向を調査しています。わかる範囲でお答えください。

1. あなたご自身について

性別 ☐ 男性 ☐ 女性 ☐ その他

年齢 ☐ 10代以下 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代以上

2. これまでの食品ロス削減のための取組の実施状況について

◆ 現在の食品ロスを削減するための取組（食べ残しを減らす、食材を買いすぎない等）の実施状況についてお聞かせください（1つ回答）。

- ☐ 常に行っている
☐ 気づいたときに行っている
☐ 行っていないが、行いたいと思っている
☐ 行っておらず、行いたいとも思わない

3. 今後の食品ロス削減のための取組の実施意向について

◆ イベントに参加されて、食品ロスを削減するための取組を実施したいと思いましたが（1つ回答）。

- ☐ 現在も常に行っており、今後も行いたい
☐ これまで行う頻度は少なかったが、今後は常に行いたい
☐ 機会があれば行いたい
☐ 行いたいとは思わない
☐ わからない

4. 実施意向の理由について

Q3で「現在も常に行っており、今後も行いたい」「これまで行う頻度は少なかったが、今後は常に行いたい」「機会があれば行いたい」のいずれかを選択された方にお尋ねします。

◆ なぜ、食品ロスを削減するための取組を実施していますか／実施したいと思いましたが（3つまで）。

- ☐ CO2の削減に貢献するため
☐ もったいないと思うため
☐ これまでよりも食費が安くなったため
☐ みんな（周りの人）が食品ロス削減のための取組を行っているため
☐ その他（具体的に）
☐ 特に理由はない・なんとなく

5. 追跡アンケートへのご協力のお願い

◆ WEBアンケート実施のためメールアドレスをご記入ください[※]。

@ 以下は下から選択して下さい

- ☐ docomo.ne.jp ☐ ezweb.ne.jp ☐ i.softbank.jp ☐ softbank.ne.jp ☐ yahoo.co.jp ☐ gmail.com
☐ その他（ ）

★ご協力ありがとうございました。

※1. 追跡調査および今後の食品ロス削減の促進のため、次回、結果がわかるアンケートを実施する予定です。ご理解・ご協力をお願いする場合は、アンケート後お送りするメールアドレスを上の欄にご記入ください。本アンケートは、環境省事業の一環として、「脱炭素ライフスタイル推進事業の高度化検討等委託業務」に委託が実施します。追跡メールは送信により、WEBアンケートメールが送信メールフォルダやゴミ箱に自動的に振り分けられている可能性があります。一度ご確認いただきますようお願いいたします。ご記入いただいたメールアドレス等の個人情報は、「脱炭素ライフスタイル推進事業の高度化検討等委託業務」において統計・分析のために、匿名化が図られることはありませんが、また、個人情報に該当する情報は、当該業務の目的のみのために利用し、資料外である場合は、委託先以外の第三者に開示せず、適宜に管理します。

本アンケートは、環境省「脱炭素ライフスタイル推進事業の高度化検討等委託業務」の一環で実施しています。



省エネ家電利用意向実態アンケート

省エネ家電の利用意向を調査しています。わかる範囲でお答えください。

1. あなたご自身について

性別 ☐ 男性 ☐ 女性 ☐ その他

年齢 ☐ 10代以下 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代以上

2. 省エネ家電キャンペーンについて

◆以下のキャンペーン、制度について知っていましたか（1つ回答）。

①5つ星家電^{※1}買換えキャンペーン

- ☐ 内容まで詳しく知っていた
☐ 名前は知っていた
☐ 知らなかった
（イベントで初めて知った）

②統一省エネエネルギーラベル^{※2}制度

- ☐ 内容まで詳しく知っていた
☐ 名前は知っていた
☐ 知らなかった
（イベントで初めて知った）



*1: 「5つ星家電」とは、統一省エネエネルギーラベル（右図参照）で☆5つの家電を指します。そのうち、冷蔵庫、エアコン、テレビについてお伺いします。

3. これまでの検討状況について

◆イベント前、省エネ家電に興味がありましたか（1つ回答）。

- ☐ すでに購入済み → Q4を飛ばす
☐ 機会があれば購入したいと思っていた
☐ 興味はあったが、購入対象ではなかった
☐ 興味なかった
☐ 省エネ家電のことを知らなかった
☐ テレビ・エアコン・冷蔵庫を利用していない
☐ わからない

4. 今後の購入意向について

◆イベントに参加されて、省エネ家電を購入したいと思いましたか（1つ回答）。

- ☐ 機会があれば購入したいと思う
☐ 興味はあるが、購入対象には入らない
☐ 興味がない
☐ テレビ・エアコン・冷蔵庫を利用していない
☐ わからない

5. 購入意向の理由について

Q3で「すでに購入済み」または、

Q4で「機会があれば購入したいと思う」「興味はあるが、購入対象には入らない」のいずれかを選択された方にお尋ねします。

◆なぜ、省エネ家電を購入しましたか/興味を持ちましたか（3つまで）。

- ☐ CO2の削減に貢献するため
☐ これまでの家電よりも電気代が安くなったと思ったため
☐ これまでの家電よりも高性能であるため
☐ みんな（周りの人）が省エネ家電を購入しているため
☐ 持っている家電が壊れたため
☐ その他（具体的に）
☐ 特に理由はない・なんとなく

6. 追跡アンケートへのご協力をお願い

◆WEBアンケート実施のためメールアドレスをご記入ください^{※2}。

@ 以下は下から選択して下さい

- ☐ docomo.ne.jp ☐ ezweb.ne.jp ☐ i.softbank.jp ☐ softbank.ne.jp ☐ yahoo.co.jp ☐ gmail.com
☐ その他（ ）

★ご協力ありがとうございました。

※1: 地球温暖化防止に力を入れる製品開発活動の促進のため、商品、結果などに関するアンケートを実施する予定です。ご理解・ご協力をお願いいたします。アンケートをお送りするメールアドレスを上の欄にご記入ください。本アンケートは、「脱炭素ライフスタイル推進事業の高度化検討等委託業務」受託者が実施します。
 ※2: 追跡メールは標準により、WEBアンケートメールが別途メールフォルダがご立派に自動的に振り分けられている可能性があります。一度ご確認をお願いします。ご記入いただいたメールアドレス等の個人情報は、「脱炭素ライフスタイル推進事業の高度化検討等委託業務」において2024年3月31日までに削除いたします。削除後も残存することはあり得るため、また、個人情報を第三者に提供し、当該業務の遂行の目的の範囲外に利用し、悪用される等の場合は、受託者は責任を負いません。

エコライフチェック

エコライフ診断 記入シート

自分の家庭で、エコライフがどのくらいできているのか、診断書を作成することができます。

【1】次の取組みができていますか？あてはまる番号に○をつけてください。

	1	2	3	4
	1 できている	2 半分くらい	3 できていない	4 持っていない・関係ない
(1)冷蔵庫のドアの開閉は回数を減らす	1	2	3	4
(2)食器洗いで節水を心がける	1	2	3	4
(3)生ゴミは水分を十分切って出すか、コンポストしている	1	2	3	4
(4)電子レンジや冷蔵庫保存はラップを使わず、ふた付き容器を使用する	1	2	3	4
(5)使い切る分だけお湯を沸かす	1	2	3	4
(6)使っていない部屋の照明はこまめに消す	1	2	3	4
(7)テレビは点けっぱなしにせず、見たい番組のときだけ点ける	1	2	3	4
(8)冷暖房の設定を控えめにする(冷房は28℃、暖房は20℃が目安)	1	2	3	4
(9)物は大切に、長く使うように心がける	1	2	3	4
(10)家族で「省エネ」「リサイクル」「環境問題」などの話をする	1	2	3	4
(11)シャワーで使用するお湯を少なくするよう気をつける	1	2	3	4
(12)お風呂はさめないうちに、家族が続けて入る	1	2	3	4
(13)お風呂の残り湯を、洗濯や庭の水やりに利用する	1	2	3	4
(14)掃除機をかける前に、まず部屋を片づける	1	2	3	4
(15)洗濯は量をまとめて行い、洗濯回数を減らすようにする	1	2	3	4
(16)洗剤を適量確認して使用する	1	2	3	4
(17)買い物のときは買い物袋を持参する	1	2	3	4
(18)エコマーク商品など環境にいい商品を意識的に選んで購入する	1	2	3	4
(19)リサイクルや、各自治体の分別収集のルールを守る	1	2	3	4
(20)近い所へは徒歩や自転車を使い、自動車の使用はひかえる	1	2	3	4

【2】一ヶ月のおおよその光熱費を記入してください。

電気代	ガス代	灯油代	ガソリン代	オール電化
	都市ガス			
	LPガス			
円	円	円	円	はい・いいえ

【3】あなたの家族人数と、お名前をご記入ください

人数	苗字またはイニシャル
人	

【4】鉄道やバスを利用しやすい地域ですか

はい・いいえ

ご記入ありがとうございました。

(有)ひのでエコライフ研究所 (http://www.hinodya-ecolife.com) 2008-2019

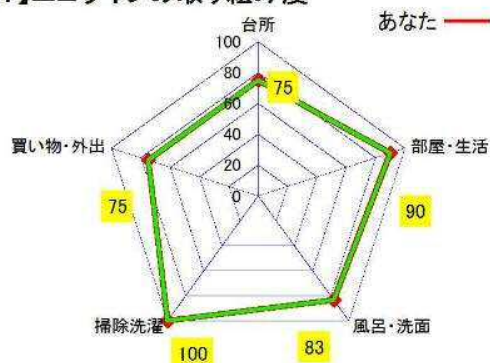
エコライフチェック三重

2022年2月27日

エコライフ診断書

三重 太郎 様

【1】エコライフの取り組み度



取り組み項目を、「台所」「部屋・生活」「風呂・洗面」「掃除洗濯」「買い物・外出」の5種類に分類して、得点を左のグラフにしてみました。5角形が大きいほど、よく取組んでいることを示しています。

部屋・生活、掃除洗濯についてよく取り組んでいます。

「エコマーク商品など環境にいい商品を意識的に選んで購入する」、「シャワーで使用するお湯を少なくするよう気をつける」といった取り組みをすすめてみてください。

【2】光熱費・ガソリン代の標準との比較



光熱費・ガソリン代を津市郊外の4人家族の標準と比較しました。

	標準の	評価
電気	1.5倍	多め
ガス	0.7倍	やや少なめ
灯油	0倍	少なめ
ガソリン	1.3倍	ふつう

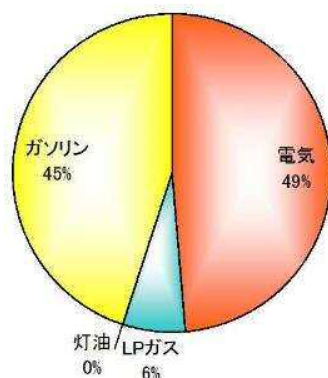
【3】二酸化炭素排出量

あなたの家庭の1ヶ月の生活で出てくる二酸化炭素は

重さは **723.5 kg**

2Lペットボトル **175,800 本分**

4人家族標準の **1.0 倍**



あなたの家庭では、4人家族標準と比べて、1倍の二酸化炭素が出ています。この中でいちばん割合が多いのは、電気で、家庭全体の48.7%を占めています。

二酸化炭素は、地球温暖化の大きな原因です。現在もすでに、世界中で氷河が溶けたり、海面が上昇する現象が起こっています。将来の子どもたちのためにも、少しでも排出量を減らしましょう。

(有)ひのでやエコライフ研究所 (<http://www.hinodaya-ecolife.com>) 2006-2015

令和３年度 二酸化炭素排出抑制事業
地域における地球温暖化防止活動促進事業

報告書

作成 令和４年３月

〒５１０－０３０４ 三重県津市河芸町上野3258番地
一般財団法人 三重県環境保全事業団
(三重県地球温暖化防止活動推進センター)
TEL 059-245-7517 FAX059-245-7518
E-mail mcca@mec.or.jp
URL <http://www.mec.or.jp/ondan/>